

ナース coco さぼ通信

Vol. 1 (3回/年) 公益社団法人滋賀県看護協会

皆様の「こころ」に、少しでもお日様や  お水  をお届けして、「こころ」をピチピチにしてもらえたら・・・という願いのもと、看護協会の「看護職のこころのサポート」相談事業より、coco さぼ通信をお送りしています。

梅雨のじめじめした季節ですが、皆さんお元気でしょうか？ 看護師が心身ともに良いコンディションを保つことは、いいケアをし続けるために重要です。1日2日、いいパフォーマンスをすることは気合いで可能でも、おそらく「し続ける」ことは難しいのではないかと、実体験でもそう思います。皆さんの心身のコンディションはいかがでしょう？

「人は誰でも失敗をする」という言葉があります。しかしその失敗を正直に認め成長の糧にすることができるからこそ、この言葉があるのだと思います。

私たちの仕事の性質上安易なミスや甘さは許されないとはいいますが、個人にとっては恥ずかしく、本当は言いたくない失敗やわからないことを正直に打ち明けるその姿勢が評価され、みんながそこから学ぼうとするような職場であることも重要なかもしれません。 

プリ子さん3年目からの相談です。

自分が指導している新人看護師が受け持ち患者さんの報告をするとき、やってないことをやったということがあって困っている。術後の患者状態の報告で〇〇をしたという報告があっても〇〇をした形跡がない、△△を実施したと報告したあと患者には△△した様子がないなど……。どう指導したらいいのでしょうか？ と悩まれています。 

師長さんもプリセプターさんも新人さんも、気軽に話に来て下さいね。待っています 

どうぞご利用ください

看護職のための

こころの相談窓口



- ・やる気がなくなった・・・
- ・自信がもてない・・・
- ・人間関係に悩んでいる・・・
- ・仕事の失敗から落ち込みがち

滋賀県看護研修センター（草津）

第1・2・4水曜日

平成30年7月…25日 8月…1日、22日
9月…5日、12日、26日
10月…3日、10日、24日
11月…7日、14日、28日
12月…5日、26日
平成31年1月…9日、23日、6日
2月…13日、27日
3月…6日、13日

彦根サテライト
（くすのきセンター内）

第3火曜日

平成30年7月…17日 8月…21日
9月…18日 10月…16日
11月…20日 12月…18日
平成31年1月…15日 2月…19日
3月…19日

「うそをつく」ってつらい言葉です。

たぶん心底うそつきで相手をだまして心の中で喜ぶような人って正直看護職にそんなにいないのではないかと考えています（少なくとも私自身会ったことがありません）。つつい…とっさに…言葉が出てしまって、後で自責感にかられる…という経験は、正直誰にでもあるのではないのでしょうか。特に経験が少ない看護職で考えられるのは「自分を守るためとっさに出た言葉」。つまりコミュニケーションのミスと捉えたい。 

ただチームで働く職場からみると

① ミスやできていないことの発見や対処に遅れる

② 「大切な仕事は任せられない」というように信頼関係に影響が出てくることにつながります。 

特に②において私たちは「チームで働くんだから失敗は失敗で報告をしてね。そうじゃないと信頼が得られないよ」と考えています。

では「とっさに出てくる自分を守りたい気持ち」に打ち勝って自分の失敗やわからないこと、やっていないことを報告相談できる倫理観を育てるためにはどうしたらいいのでしょうか？

実は「つつい言ってしまった」方に多いのは、「失敗した、わからないと言うことはここ（この職場やチーム）では信頼を失ってしまうと怖がっている人」である場合が多いのです。職場としては「失敗を失敗だと報告する人が信頼される」と思っている、（ここでは）失敗を失敗だと報告する人が信頼を失う」と思っていてズレが生じていることがあります。悩ましいですね。 

滋賀県看護協会 ナースセンター 看護職員こころの相談 お問い合わせ・予約

☎：077-564-9494 Email：shiga@nurse-center.net

来所相談・電話相談（予約制）

相談日：研修センター 第1・2・4水曜日 サテライト 第3火曜日

※時間はお問合せください。詳細はホームページでもご確認いただけます。
秘密厳守します